

●7月21日（金）

9時00分～11時30分 現地大学生メンターとの「ディスカッションベース・プログラム③ ※プレゼンテーション」
11時45分～16時45分 Learn & Lead Experience（班別自主研修）

さて、本日よりアクティビティ最終日を迎えました。プログラムの進行とともに、日ごと通学や生活にも余裕と自信が生まれ、笑顔絶えない豊かな表情に、そして各アクティビティへのより前のめりな参加姿勢からもそれらを見て取ることができました。一週間という決して長くない期間ではありましたが、柘植校長先生がおっしゃっておいりました、“変化（成長）”を感じている生徒、または変化への“糧”を得た生徒は少なくない、と強く感じます。朝8時50分、本日も全員が元気な顔を見せてくれました。

午前のプログラムは、生徒によるプレゼンテーションです。『プログラムでの経験や気づき、そこから得た自信や変化（成長）の糧、そしてこれからの自分へ・・・』を主テーマに、多くが進路や将来像を具体的に描く、または言及した熱い気持ち、そして「自分自身の内面」にふれる、見つめることばが伝えられていました。また、同時にそれらの発表には、これまでディスカッションクラスのみならず、多くのアクティビティに帯同、ランチや休憩時間にも多くの交流機会を提供し、まさに兄弟のようにサポートしてくれた学生メンターへの感謝の気持ちものせられ、3～4分程度の短時間ながら（短時間だからこそでもあったでしょう）聞き入るに十分な、それぞれの強い思いを感じる発表でした。あらためて、あくまで本研修は“通過点”であること、しかし大きなターニングポイントになった生徒も少ないないこと感じ、帰国後の変化を期待せずにはられません。

午後は、こちらも学生メンターとともに実施する『Learn & Lead Experience（班別自主研修）』が行われました。まさに自分たちの足で、そして自分たちの計画でボストンの街を闊歩し、今度は生徒たちが学生をリードする（していたはずですが・・・）本活動は、一番の楽しみでもあったことでしょう。午前のプレゼンテーション後での高揚した雰囲気、達成感と相まってすぐにも飛び出していくぐらいの勢いをおさえつつ、最終の経路確認と諸注意をうけたのち、幸いにも幾分過ごしやすい気温となったボストンの街へ繰り出していきました。16時45分、時間通りに全員が素晴らしい表情、笑顔で戻ってきてくれました。

明日（土曜日）は、各ファミリー宅にて過ごします。家族や留学生（いくつかのファミリー宅に滞在）たちと出かける生徒もいれば、のんびりと家でくつろぐ生徒、過ごし方は様々です。個々に研修を振り返る時間にもしていただきながら、ボストンでの最後の時間を楽しみ、そして体調不良なく出発を迎えることができること期待し、解散となりました。

以上、現地6日目（最終日）の報告とさせていただきます。







